

? アライアンスとは

航空会社のアライアンス(主にスターアライアンスやワンワールド、スカイチーム)はマイルージプログラムなどで、皆様にも馴染みがあるかと思いますが、コンテナ船でも航空会社と同じようにアライアンスが存在します。

コンテナ船のアライアンスは海運業界で共同作業やリソースの共有を目的とし、複数の船会社が共同で航路や船舶を運営する形態を指します。アライアンスは、航路の効率化やコスト削減、競争力の強化などの利点をもたらします。例えば、世界的に有名なコンテナ船には3大アライアンスがあります。1つは「THE Alliance」、もう1つは「Ocean Alliance」、そして最後に「2M Alliance」です。これらのアライアンスは、複数の大手船会社によって構成され、共同で船舶を運航し、コンテナ船のネットワークを最適化します。

アライアンスによって船会社は航路を共有し、複数の船舶を効果的に運航することができます。これにより、効率的な船舶の運航と貨物の配送が可能となり、顧客により良いサービスを提供することができます。

2025年以降 アライアンス構成

MSCとマースクは、「2M」アライアンスを2025年1月末で契約を終了することで両社が合意したと発表しました。また、マースクとハパックロイドは、2025年2月から“Gemini Cooperation”と呼ばれる新たな長期共同運航に関する契約に署名したと発表しました。

2025年2月からは以下のアライアンス構成となります。

2024年 現在			2025年2月以降			
2M	Ocean Alliance	THE Alliance	Gemini Cooperation	Ocean Alliance	THE Alliance	単独運航
						
993.3万 TEU	837.4万 TEU	534.3万 TEU	625.8万 TEU	837.4万 TEU	329.4万 TEU	572.4万 TEU

※TEU=20フィート換算のコンテナ個数

THE Allianceにおいて、ハパックロイドが占める比率は約3割に達し、これに伴いTHE Allianceで提供されるサービス航路が大きく変更される可能性がございます。

THE Allianceで運航されている日本出しの航路としては、FP1、PN1、(EC1、EC2、EC6)などがあります。

ジャパントラストでは変更に伴う影響を最小限に抑えるためのご提案をさせていただきます。ぜひ弊社営業担当までお問い合わせください!

※現在の西回りの東岸サービスAA7(WANHAIと共同運航)については、引き続きサービスを提供される予定です。